

施策 1 4 6 感染症の予防と拡大防止対策の推進

基本事業 1 4 6 0 1 感染症予防のための普及啓発の推進

(主担当 健康増進課)

医療機関の協力を得て感染症の患者発生状況、病原体検索結果等により流行状況を早期に把握し、三重県感染症情報センターから予防、診断等に役立つ情報を提供・公開しています。

1 感染症発生動向調査事業

管内医療機関医師や医療機関定点から提供される感染症の発生状況をコンピュータオンラインシステムにより三重県感染症情報センターへ報告します。

同センターで集約された感染症に関する情報は、インターネットを利用したコンピュータシステムにより迅速に分析、提供、公開することで感染症のまん延を未然に防ぎます。

- (1) インフルエンザ（内科）定点・・・4ヶ所
- (2) インフルエンザ（小児科）定点・・・7ヶ所
- (3) 小児科定点・・・・・・・・・・・・・7ヶ所
- (4) 眼科定点・・・・・・・・・・・・・2ヶ所
- (5) STD定点・・・・・・・・・・・・・2ヶ所
- (6) 基幹定点・・・・・・・・・・・・・1ヶ所

2 発生動向病原体検査

感染症の患者情報と共に病原体に関する情報を一元的に収集・分析、提供、公開するシステムを構築し総合的な感染症対策に資するため、有効かつ的確な検査事業を実施します。

(1) 実施件数（人数）

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

四類感染症									
E 型肝炎	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ライム病			
1	5	1	58	3	61	1			
五類感染症（全数）				五類感染症（定点）					
脳炎	劇症型溶連菌 レンサ球菌 感染症	バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	麻しん 風しん	インフル エンザ	感染性 胃腸炎	手足口 病	百日咳	ヘルパン ギーナ	無菌性 髄膜炎
4	1	1	23	34	89	10	1	20	6
五類感染症（定点）			通知に基づくその他の検査 エンテロウイルス D68						
上気道炎	不明発疹熱	侵襲性細菌感染症							
16	3	1	28						

(2) マダニ媒介性感染症検査実施数再掲 (件数)

	急性期			回復期
	血液		痂皮	血液
	PCR	抗体	PCR	抗体
日本紅斑熱	58 (5)	58 (7)	34 (20)	32 (23)
SFTS	5 (3)	/	/	/
ライム病	1 (0)			
ツツガムシ病	58 (0)		33 (0)	

* 1人の患者から複数の検体提出がある為、検査実施人数とは一致しない。

* () 内は検査検体陽性数の為、発生届け人数と一致しない。

基本事業 14602 感染症危機管理体制の整備 (主担当 健康増進課)

平常時から感染症の正しい知識の普及啓発を実施し、伊勢志摩地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のため迅速かつ的確な対策を総合的に推進してまん延防止に努めています。

1 感染症発生状況 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

一類感染症：0 件

二類感染症：0 件 (結核を除く)

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (保菌者を含む)

四類感染症：E 型肝炎 1 件、重症熱性血小板減少症候群 3 件、デング熱 1 件
日本紅斑熱 4 5 件

五類感染症：アメーバー赤痢 1 件、ウイルス性肝炎 2 件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 件、後天性免疫不全症候群 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症 3 件、梅毒 7 件、破傷風 1 件、麻しん 6 件

(1) 発生状況の推移 (三類感染症) (年度)

区 分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	1	0	0	0
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	7	14	7	3	5	12	7	10	1
合 計	7	14	7	3	5	13	7	10	1

2 行政検査実施件数

(1) 感染性胃腸炎

* () 内は陽性者数

(1)	施設所在地	菌検索		
		ノロウイルス	ロタウイルス	サポウイルス
平成 29 年 2 月 22 日	伊勢市	2 (2)	2	2

3 感染症発生対応

(1) 腸管出血性大腸菌感染症

疫学調査実施数	家族に対する健康診断実施数	接触者に対する健康診断実施数	本人に対する陰性化確認検査実施数
1	1	0	2

(2) 麻しん

	診断人数	初発患者		接触者				
		発生届受理日	疫学調査実施日	対象人員	健康観察実施数	疫学調査実施数	検査実施数	陽性者数
事例 1	2	平成 29 年 1 月 10 日		72	72	1	1	1
事例 2	4	平成 29 年 2 月 4 日		238	229	13	13	3

(3) その他の感染症 (疫学調査)

発生報告等受理日	調査実施日	対象感染症
平成 28 年 5 月 20 日	平成 28 年 5 月 23 日 平成 28 年 6 月 3 日	重症熱性血小板減少症候群
平成 28 年 9 月 15 日	平成 28 年 9 月 21 日	E 型肝炎
平成 28 年 11 月 4 日	平成 28 年 12 月 27 日	重症熱性血小板減少症候群
平成 29 年 1 月 24 日	平成 29 年 1 月 24 日	細菌性赤痢 (同行者 3 名)

(4) 社会福祉施設や医療機関の施設内における感染症等集団発生時届出報告書の受理と蔓延防止対策指導

初発日	施設所在地	対象感染症	終息日
平成 28 年 8 月 22 日	南伊勢町	肺炎・気管支炎	平成 28 年 9 月 14 日
平成 28 年 12 月 12 日	南伊勢町	感染性胃腸炎	平成 28 年 12 月 27 日
平成 28 年 12 月 26 日	大紀町	同上	平成 29 年 1 月 4 日
平成 28 年 12 月 26 日	鳥羽市	インフルエンザ	平成 29 年 1 月 26 日
平成 29 年 1 月 8 日	伊勢市	同上	平成 29 年 1 月 30 日
平成 29 年 1 月 12 日	南伊勢町	同上	平成 29 年 1 月 30 日
平成 29 年 1 月 12 日	伊勢市	同上	平成 29 年 1 月 20 日
平成 29 年 1 月 15 日	伊勢市	同上	平成 29 年 2 月 2 日
平成 29 年 1 月 20 日	伊勢市	同上	平成 29 年 2 月 6 日
平成 29 年 1 月 24 日	伊勢市	同上	平成 29 年 2 月 19 日
平成 29 年 1 月 26 日	伊勢市	同上	平成 29 年 2 月 19 日
平成 29 年 2 月 4 日	大紀町	同上	平成 29 年 3 月 1 日
平成 29 年 2 月 22 日	伊勢市	感染性胃腸炎	平成 29 年 3 月 8 日
平成 29 年 2 月 22 日	南伊勢町	インフルエンザ	平成 29 年 3 月 1 日
平成 29 年 2 月 23 日	度会町	同上	平成 29 年 3 月 11 日
平成 29 年 2 月 27 日	伊勢市	同上	平成 29 年 3 月 14 日
平成 29 年 3 月 1 日	南伊勢町	感染性胃腸炎	平成 29 年 3 月 14 日
平成 29 年 3 月 3 日	伊勢市	インフルエンザ	平成 29 年 3 月 17 日
平成 29 年 3 月 6 日	度会町	同上	平成 29 年 3 月 24 日
平成 29 年 3 月 10 日	大紀町	同上	平成 29 年 3 月 26 日
平成 29 年 3 月 13 日	志摩市	同上	平成 29 年 3 月 27 日

4 検疫実施状況

検疫通報件数 0 件

5 伊勢地域感染症対策会議の開催

平成28年5月に志摩市において開催された伊勢志摩サミットにおける感染症対策や、管内で発生した麻しん対策に関する報告、及び管内で発生が続くマダニ媒介性感染症に関する病状と今後の蔓延防止対策等について共有する会議を開催しました。

(1) 日 時：平成29年3月9日（木） 19:00～20:30

場 所：三重県伊勢庁舎 4階 大会議室

内 容：ア. 伊勢志摩サミットにおける感染症対策について
イ. マダニ媒介性感染症について
ウ. 「麻しん」に対する行政対応について

出席者：ア. 病院関係者 8名 イ. 医師会会員 3名
 ウ. 市町担当者 8名 エ. 保健環境研究所 1名
 オ. 県庁 2名 カ. 事務局（保健所） 7名

6 伊勢志摩サミット対策

平成28年5月に志摩市にて開催された伊勢志摩サミットにおいては、通常サーベイランスに加え、強化サーベイランスが実施され、通常とは違う発生状況を探知し、まん延防止対策を実施しました。

通常のサーベイランス	強化サーベイランス
全数把握の感染症	疑似症サーベイランス
定点把握の感染症	救急搬送サーベイランス
学校欠席者情報システム	警察官サーベイランス
薬局サーベイランス	医療機関強化サーベイランス

(1) 感染症予防講習会

日 時：平成28年4月26日～同5月12日

対 象：重要宿泊施設（10施設）の従業員（308名）

内 容：感染症拡大防止に係る講習会

(2) 伊勢志摩4医療機関（病院）強化発生動向調査実施調整

日 時：平成28年5月10日・11日

内 容：4病院強化サーベイランス説明及び協力要請

対 象：管内4病院

(3) 感染症対策要員による現地駐在

日 時：平成28年5月25日～同27日

内 容：各種発生動向調査の監視、感染症情報の収集と、発生対24時間対応する為、現地に待機

(4) 対策事例

ア 学校欠席者情報収集システムで探知

(ア) 疾患名：麻疹

対 策：疫学調査と病原体検査の実施

結 果：伝染性紅斑と判明

(イ) 疾患名：インフルエンザB

対 策：学校担当者を確認し、特に増加傾向を認めないため、経過観察とした。

イ 全数報告対象疾患で探知

疾患名：重症熱性血小板減少症

対 策：疫学調査による感染源検索・まん延防止対策と病原体検査の実施

ウ 警察サーベイランスで検知

症 状：特定集団での有症状者（嘔吐・下痢）の集積

対 策：ノロウイルス対策として、手洗い・消毒の啓発とパンフレット配布

エ ダニ咬傷注意喚起

疾患名：日本紅斑熱

対 策：サミット警備業務に従事する警察官等を対象に啓発チラシの配布

オ サミット関係者の状況で検知

症 状：嘔吐・下痢

対 策：国際メディアセンターでの有症状者の情報を把握。特に感染症のまん延や食中毒を疑う例ではなかったが、手洗いの励行、消毒の実施等を指示し、その後の経過を観察した。

基本事業 1 4 6 0 3 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当 健康増進課)

結核患者への精密検査及び家族・接触者への健康診断を実施し、まん延の防止を図ります。

性感染症まん延防止のため、知識の啓発を図ると共に相談や検査を実施します。

1 結核予防対策

結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の普及を図るとともに、接触者健診に重点を置き患者管理の徹底を図りました。

新たに発生する結核患者に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあることから、高齢者に関わる各機関に対して啓発活動を強化し、早期発見・早期治療及び服薬支援体制整備に繋げました。

また、学校保健においては教育委員会と連携を図り、集団感染の予防対策に努めました。

(1) 定期健康診断実施状況

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

区 分 種 別	定 期								計	
	事業者	学 校 長			施設 の長	市 町 長				
		高校	大学	その他		乳幼児	65歳 以上	その 他		
BCG接種者数						1,564			1,564	
間接撮影者数	1,350	1,626	0	63	642		2,359	0	6,040	
直接撮影者数	8,640	676	751	75	1,529		12,656	0	24,327	
喀 痰 検 査	0	0	0	0	0		0	0	0	
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	0	0	2		0	0	2
	結核発病のおそれがあると診断された者	2	0	0	0	0		0	0	2

(2) 健康診断及び精密検査実施状況

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

区 分	受 診 者 数	ツ 反 応 検 査	B C G	直 接 撮 影	喀 痰 検 査	Q F T 検 査	結 果	
							要 治 療	要 注 意
健康診断 (家族・接触者)	178	1	0	157	0	55	1	1
精密検査 (患者)	58	0	0	79	0	0	0	0
計	236	1	0	236	0	55	1	1

*受診者数は実数で、検査件数は延べ実施件数で計上。

*要治療は潜在性結核感染症を含む。

(3) 結核登録患者状況
市町別結核登録者数

平成28年12月31日現在

区分 市町名	登録数	活動性	新登録数	人口	有病率	罹患率
伊勢市	29	12	14	126,909	9.5	11.0
鳥羽市	9	5	3	19,106	26.2	15.7
志摩市	20	7	8	49,553	14.1	16.1
玉城町	1	1	1	15,442	6.5	6.5
度会町	6	3	4	8,197	36.6	48.8
大紀町	3	1	1	8,710	11.5	11.5
南伊勢町	6	2	4	12,432	16.1	32.2
管内合計	74	31	35	240,349	12.9	14.6

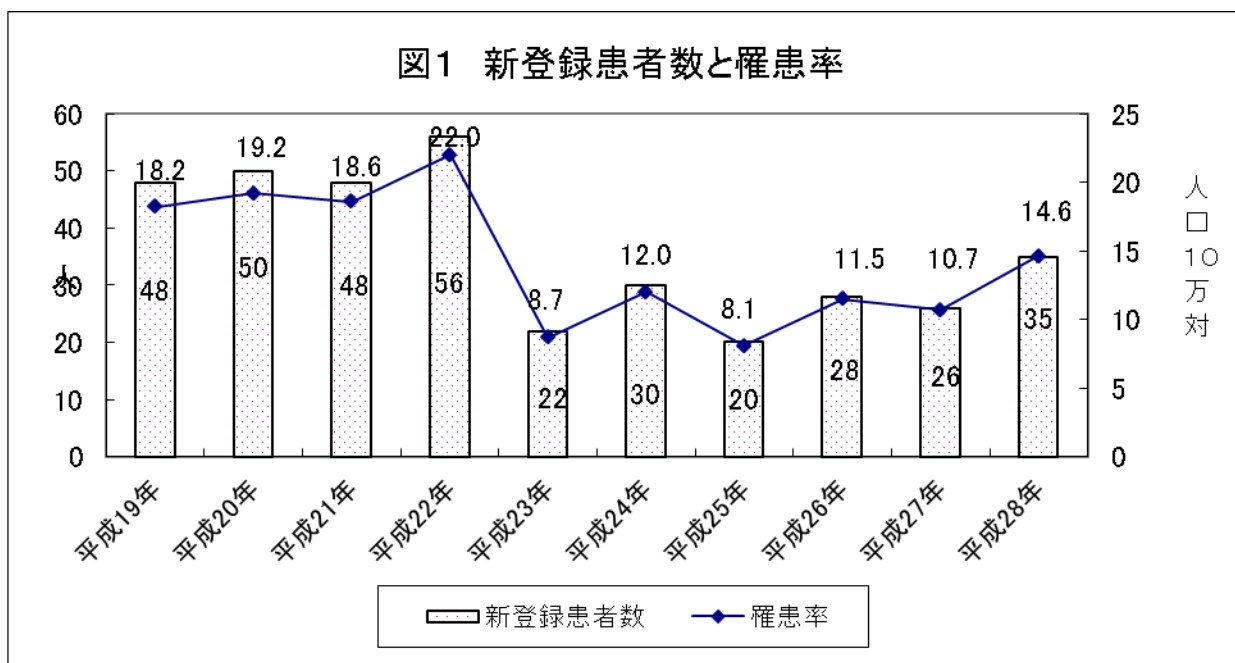
(注) 人口は平成28年10月1日現在。

有病率：活動性全結核患者数／人口×10万人

罹患率：新規登録結核患者数*／人口×10万人 *潜在性結核感染症除く

(4) 結核に関する統計資料

ア 新登録患者数と罹患率の年次推移



(5) 学校保健との連携

学校保健では、結核患者の早期発見及び集団感染の予防のため、定期健康診断を実施しています。保健所は公衆衛生の専門機関として、教育委員会や保健所感染症診査協議会の専門医と協力し、結核患者に関する情報の整理や教育委員会主催の結核対策委員会運営にあたり、事務局への助言・指導を実施しました。

(6) 平成28年度結核対策特別促進事業

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、医療機関や福祉施設等地域の関係機関との連携を強化した個別の服薬支援が重要であることから、入院中から地域生活に向けた服薬支援の体制整備や支援者拡大を図り、患者の治療完遂を目指しました。

ア 結核病床を有する病院とのDOTSカンファレンス

参加者：医師、看護師、ソーシャルワーカー等

実施回数：12回（伊勢赤十字病院）、2回（三重中央医療センター）

内容：入院中及び退院後の患者についての事例検討、情報交換

イ 個別の服薬支援

訪問延べ132件、電話延べ52件、所内面接延べ12件、

職場訪問延べ7件、メール延べ4件

ウ 結核の知識普及・啓発

(ア) 研修会の実施

実施日	対象者所属	出席数	内容
平成28年6月2日	サービス付高齢者向け住宅	40	結核について
平成28年6月27日	病院	30	同上
平成28年10月26日	通所介護事業所	26	同上
平成28年11月30日	介護老人保健施設	25	同上
平成29年1月26日	管内土地改良区	33	同上

(イ) 保健所ホームページ

結核予防に関する知識・情報について

2 エイズ相談・検査及び普及啓発事業

エイズ対策として、性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止をはかるため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療の充実、相談、指導など総合的に事業を展開しました。

(1) エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに相談及び抗体検査を実施しました。

平成28年4月1日～平成29年3月31日

相 談 件 数					検 査 件 数	
電 話		来 所		合 計	スクリーニング 検査	確認検査
男	女	男	女			
7 (0)	2 (0)	2 (1)	0 (0)	11 (1)	111 (19)	0 (0)

() 内は夜間実施分(再掲)

(2) エイズ予防、患者及びH I V感染者への偏見の除去、さらに共生社会への構築を図るための普及啓発を実施しました。

ア H I V検査時に相談者にアンケート調査を実施し、H I Vに関する知識、理解度を把握しました。

イ 世界エイズデーキャンペーン実施状況

実施日	対象者	内 容
平成 28 年 12 月 1 日	近鉄宇治山田駅 利用者	エイズ予防に関する呼びかけと 啓発用ティッシュ 1000 部の配布
平成 28 年 11 月 24 日～ 11 月 29 日	地域住民	ミタス伊勢にて、啓発用ティッシュ とパンフレットを設置し配布。
平成 28 年 11 月 28 日～ 12 月 2 日	職員、地域住民等	伊勢庁舎ロビーにて、啓発用ティッ シュとパンフレットを設置し配布。

3 特定感染症検査

(1) 梅毒等検査状況

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ相談・検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、またウイルス性肝炎の検査を推進することで、これら感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

	梅 毒	B型肝炎	C型肝炎
男	77 (16)	76 (15)	76 (15)
女	34 (3)	35 (3)	35 (3)
合 計	111 (19)	111 (18)	111 (18)

() 内は夜間検査実施分 (再掲)